

「茶の作り方」について



お茶はかせになろう⑤

茶作は、葉がむれないように、やさしく風をおくり、全体をまんべんなくおしつぶす。水分がじょうずにとれたときと、とれてないときのかおりがちがう。夕方になって気温が下がると、カーテンをしめ、あたたかい風をいれる。気温がひくいと水分がぬけると、いちょうそうにいれた葉のカサがへって、しだいにしずんでくる。そのしずみぐあいや、夜の気温、茶葉のようすなどをみて室温や風のぐあいを調整する。このいしずみぐあいがあり方、こう茶のいきが決まる。

3年生がお茶博士になるために、一生懸命勉強しています。ワークシートを見せてもらいました。けっこう難しいことも調べています。